

報道関係者 各位

令和6年11月27日(水)

【照会先】

鹿児島労働局労働基準部監督課  
監督課長 鈴木正臣  
主任監察監督官 秋山芳徳  
099-223-8277

## 建設業の労働災害を防止するため「年末年始建設業 一斉集中立入調査」を実施します

鹿児島労働局（局長 ながの かずのり 永野 和則）は、年末年始に向けた鹿児島県内の建設業における労働災害の防止の取組を一層強化するため、令和6年12月2日(月)から令和7年1月31日(金)までを「年末年始建設業一斉集中立入調査実施期間」と位置づけて、管内の5つの労働基準監督署において建設現場に対し一斉集中立入調査を実施します。

### 【趣旨】

建設業における労働災害（休業4日以上）は、令和3年295件、令和4年283件、令和5年304件（新型コロナウイルス感染症による休業災害を除く、以下同じ）と、概ね横ばいで推移していたが、令和6年は10月末現在、休業4日以上の災害が242件（前年同期228件）と増加（+6.1%）、死亡災害は6件（前年同期3件）と倍増しており、依然として重篤災害の発生率が高い業種となっています。

これから迎える年末年始は、慌ただしい時期であり、作業内容や生活リズムが変わる傾向にあることから、建設業の労働災害が発生しやすい時期となっています。

このような状況を踏まえ、鹿児島労働局では、年末年始におけるさらなる労働災害の撲滅を目指し、「年末年始建設業一斉集中立入調査」を実施するものです。

### 【取組事項】

- 実施期間：令和6年12月2日(月)～令和7年1月31日(金)
- 対象：鹿児島労働局管内の建設現場
- 実施主体：鹿児島労働局管内の5つの労働基準監督署
- 重点事項

建設業の三大災害（①墜落・転落災害、②建設機械災害、③土砂崩壊災害）が発生するおそれのある現場に対して、次の労働災害防止措置を重点事項として立入調査を行う。

#### ①墜落・転落災害

足場の組立て等による作業床の設置、足場の組立て等作業主任者の選任、要求性能墜落制止器具の使用、開口部等への囲い・手すり等の設置等

## 【取組事項】

### ②建設機械災害

有資格者による運転、作業半径内の立入禁止、安全な運行経路の確保等

### ③土砂崩壊災害

掘削箇所の事前調査、法面の安全勾配の確保、土止め支保工の設置、地山の掘削作業主任者の選任等

---

## 【資 料】

- 1 年別・業種別労働災害発生状況（平成26年～令和5年）（資料1）  
（新型コロナウイルス感染症による休業災害を除く）
- 2 業種別死傷災害発生状況（令和6年10月末速報）（資料2）
- 3 業種別 事故の型別・年齢別死傷災害発生状況（資料3）  
（令和6年10月末速報）
- 4 令和6年 建設業死亡災害事例（令和6年10月末現在）（資料4）

## 平成26～令和5年における業種別労働災害発生状況

業種	年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
<b>全産業 (死亡)</b>		<b>1,729 (21)</b>	<b>1,751 (17)</b>	<b>1,985 (20)</b>	<b>1,961 (21)</b>	<b>1,936 (13)</b>	<b>2,010 (15)</b>	<b>2,047 (14)</b>	<b>2,108 (22)</b>	<b>2,090 (13)</b>	<b>2,240 (14)</b>
<b>1 製造業</b>		<b>351 (4)</b>	<b>321 (2)</b>	<b>382 (2)</b>	<b>377 (1)</b>	<b>370 (1)</b>	<b>385 (2)</b>	<b>378 (2)</b>	<b>370 (2)</b>	<b>376</b>	<b>440 (4)</b>
1 食料品製造業		224 (2)	197 (1)	235 (1)	236 (1)	212	224 (1)	211	206	228	254 (3)
4 木材・木製品製造業		20	10	20	26	25	32	20	25	23	21
9 窯業土石製品製造業		14	21	15	19	22	15 (1)	19	19	20	22
11～12 金属製品製造業		20	12 (1)	19	30	22	32 (1)	27 (1)	24	21	30
13～15 機械器具製造業		24	24	28	21	24	24	45 (1)	37 (1)	30	43
上記以外の製造業		49 (2)	57	65 (1)	45	65 (1)	58	56 (1)	59 (1)	54	70 (1)
<b>2 鉱業</b>		<b>4</b>	<b>3</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>5</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>2 (1)</b>	<b>6</b>	<b>9</b>
<b>3 建設業</b>		<b>267 (6)</b>	<b>290 (5)</b>	<b>314 (4)</b>	<b>312 (8)</b>	<b>294 (4)</b>	<b>312 (6)</b>	<b>302 (3)</b>	<b>295 (5)</b>	<b>283 (5)</b>	<b>304 (3)</b>
1 土木工事業		92 (3)	103 (3)	129 (2)	118 (2)	104 (2)	116 (1)	109 (2)	117 (3)	113 (3)	102 (1)
2 建築工事業		153 (3)	161 (1)	148 (1)	143 (4)	162 (2)	159 (4)	159 (1)	131 (1)	137 (1)	150 (1)
3 その他の建設業		22	26 (1)	37 (1)	51 (2)	28	37 (1)	34	47 (1)	33 (1)	52 (1)
<b>4 運輸交通業</b>		<b>222 (3)</b>	<b>203 (2)</b>	<b>211 (2)</b>	<b>189 (4)</b>	<b>222</b>	<b>193 (1)</b>	<b>215 (2)</b>	<b>222 (2)</b>	<b>200 (2)</b>	<b>211 (1)</b>
1 鉄道・航空機業		5	8	8	11 (2)	10	7	7	10	5	5
2 道路旅客運送業		27 (1)	17	27	16	24	6	14	17	8	17
3 道路貨物運送業		190 (2)	177 (2)	175 (2)	161 (2)	187	178 (1)	194 (2)	193 (2)	186 (2)	189 (1)
4 その他の運輸交通業			1	1	1	1	2		2	1	
<b>5 貨物取扱業</b>		<b>13 (1)</b>	<b>18 (1)</b>	<b>22</b>	<b>32 (1)</b>	<b>20</b>	<b>34</b>	<b>14</b>	<b>17</b>	<b>29</b>	<b>22</b>
1 陸上貨物取扱業		4	8 (1)	10	10	8	8	4	3	11	11
2 港湾運送業		9 (1)	10	12	22 (1)	12	26	10	14	18	11
<b>6 農林業</b>		<b>86 (1)</b>	<b>92 (3)</b>	<b>100 (5)</b>	<b>103 (1)</b>	<b>87 (3)</b>	<b>104 (2)</b>	<b>104 (2)</b>	<b>97 (5)</b>	<b>98 (2)</b>	<b>106 (1)</b>
1 農業		40	42	43	55	39 (2)	47 (1)	53	44 (2)	48	62
2 林業		46 (1)	50 (3)	57 (5)	48 (1)	48 (1)	57 (1)	51 (2)	53 (3)	50 (2)	44 (1)
<b>7 畜産・水産業</b>		<b>85 (1)</b>	<b>97 (2)</b>	<b>84 (1)</b>	<b>104 (2)</b>	<b>94 (1)</b>	<b>101</b>	<b>101 (1)</b>	<b>112 (1)</b>	<b>119 (1)</b>	<b>111</b>
<b>8 商業</b>		<b>261 (1)</b>	<b>224 (1)</b>	<b>258 (4)</b>	<b>251 (1)</b>	<b>268</b>	<b>280 (1)</b>	<b>269 (3)</b>	<b>277 (2)</b>	<b>295 (2)</b>	<b>293 (2)</b>
<b>9 金融・広告業</b>		<b>12</b>	<b>15</b>	<b>23</b>	<b>23</b>	<b>18 (1)</b>	<b>15</b>	<b>17</b>	<b>25</b>	<b>15</b>	<b>23</b>
<b>11 通信業</b>		<b>12</b>	<b>9</b>	<b>14</b>	<b>18</b>	<b>23</b>	<b>19</b>	<b>33</b>	<b>21</b>	<b>25</b>	<b>25</b>
<b>12 教育・研究業</b>		<b>13</b>	<b>21</b>	<b>19</b>	<b>20</b>	<b>18 (1)</b>	<b>22</b>	<b>18</b>	<b>29</b>	<b>31</b>	<b>30</b>
<b>13 保健衛生業</b>		<b>200</b>	<b>218</b>	<b>290</b>	<b>281</b>	<b>282</b>	<b>288</b>	<b>333</b>	<b>372</b>	<b>355</b>	<b>387</b>
1 医療保健業		81	84	111	109	128	114	123	144	141	149
2 社会福祉施設		111	127	176	166	146	171	202	222	207	226
3 その他の保健衛生業		8	7	3	6	8	3	8	6	7	12
<b>14 接客娯楽業</b>		<b>115 (1)</b>	<b>119</b>	<b>137</b>	<b>115</b>	<b>105 (1)</b>	<b>118</b>	<b>103</b>	<b>119</b>	<b>109</b>	<b>112 (1)</b>
1 旅館業		32 (1)	30	28	27	22	30	26	23	33	25 (1)
2 飲食店		55	56	73	60	50	60	44	60	55	66
3 その他の接客娯楽業		28	33	36	28	33 (1)	28	33	36	21	21
<b>上記以外の事業</b>		<b>88</b>	<b>121 (1)</b>	<b>126 (2)</b>	<b>130 (3)</b>	<b>130 (1)</b>	<b>137 (3)</b>	<b>157 (1)</b>	<b>150 (4)</b>	<b>149 (1)</b>	<b>167 (2)</b>
10 映画・演劇業											1
15 清掃・と畜業		52	72 (1)	67 (1)	70 (2)	74 (1)	78 (2)	76	82 (4)	85	89
16 官公署		1	1	1		1	1	2		3	
17 その他の事業		35	48	58 (1)	60 (1)	55	58 (1)	79 (1)	68	61 (1)	77 (2)
<b>陸上貨物運送事業 (4-3・5-1)</b>		<b>194 (2)</b>	<b>185 (3)</b>	<b>185 (2)</b>	<b>171 (2)</b>	<b>195</b>	<b>186 (1)</b>	<b>198 (2)</b>	<b>196 (2)</b>	<b>197 (2)</b>	<b>200 (1)</b>
<b>第三次産業 (8～17)</b>		<b>701 (2)</b>	<b>727 (2)</b>	<b>867 (6)</b>	<b>838 (4)</b>	<b>844 (4)</b>	<b>879 (4)</b>	<b>930 (4)</b>	<b>993 (6)</b>	<b>979 (3)</b>	<b>1,037 (5)</b>

\* ( ) 内の数字は、死亡者数で内数である。

\* 新型コロナウイルス感染症り患者を除く

## 令和6年10月末 業種別死傷災害発生状況

鹿児島労働局

業種別死傷災害発生状況									
業種	年	令和6年 (10月末)		令和5年 (同月末)		対前年			
						増減数		増減率	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業		1,648	15	1,683	12	-35	3	-2.1%	25.0%
1 製造業		289	4	341	3	-52	1	-15.2%	33.3%
1 食料品製造業		188	3	196	2	-8	1	-4.1%	50.0%
4 木材・木製品製造業		18		15		3		20.0%	
9 窯業土石製品製造業		12	1	19		-7	1	-36.8%	
11～12 金属製品製造業		16		24		-8		-33.3%	
13～15 機械機具製造業		27		34		-7		-20.6%	
上記以外の製造業		28		53	1	-25	-1	-47.2%	-100.0%
2 鉱業		1		9		-8		-88.9%	
3 建設業		242	6	228	3	14	3	6.1%	100.0%
1 土木工事業		89	5	84	1	5	4	6.0%	400.0%
2 建築工事業		112	1	100	1	12		12.0%	
3 その他の建設業		41		44	1	-3	-1	-6.8%	-100.0%
4 運輸交通業		156	1	165	1	-9		-5.5%	
1 鉄道・航空機業		1		3		-2		-66.7%	
2 道路旅客運送業		13		12		1		8.3%	
3 道路貨物運送業		142	1	150	1	-8		-5.3%	
4 その他の運輸交通業									
5 貨物取扱業		19	1	15		4	1	26.7%	
1 陸上貨物取扱業		7		8		-1		-12.5%	
2 港湾運送業		12	1	7		5	1	71.4%	
6 農林業		87	2	88	1	-1	1	-1.1%	100.0%
1 農業		46	1	51		-5	1	-9.8%	
2 林業		41	1	37	1	4		10.8%	
7 畜産・水産業		93		75		18		24.0%	
8 商業		208		212	1	-4	-1	-1.9%	-100.0%
1 卸売業		38		29		9		31.0%	
2 小売業		155		165	1	-10	-1	-6.1%	-100.0%
3 理美容業				1		-1		-100.0%	
4 その他の商業		15		17		-2		-11.8%	
9 金融・広告業		12		14		-2		-14.3%	
11 通信業		17		21		-4		-19.0%	
12 教育・研究業		9		19		-10		-52.6%	
13 保健衛生業		278		279		-1		-0.4%	
1 医療保健業		105		116		-11		-9.5%	
2 社会福祉施設		166		153		13		8.5%	
3 その他の保健衛生業		7		10		-3		-30.0%	
14 接客娯楽業		91		78	1	13	-1	16.7%	-100.0%
1 旅館業		23		19	1	4	-1	21.1%	-100.0%
2 飲食店		49		44		5		11.4%	
3 その他の接客娯楽業		19		15		4		26.7%	
上記以外の事業		146	1	139	2	7	-1	5.0%	-50.0%
10 映画・演劇業				1		-1		-100.0%	
15 清掃・と畜業		77		75		2		2.7%	
16 官公署		2		2				0.0%	
17 その他の事業		67	1	61	2	6	-1	9.8%	-50.0%
陸上貨物運送事業（4-3-5-1）		149	1	158	1	-9		-5.7%	
第三次産業（8～17）		761	1	762	4	-1	-3	-0.1%	-75.0%

- ① 死傷者数は、当月末までに発生した労働災害の被災者を翌月8日締めで集計したもの。  
 ② 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上災害によるもので、死亡者を含みます。  
 ③ 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。  
 ④ 下段の陸上貨物運送事業（4-3-5-1）及び第三次産業（8～17）は、別計。  
 ⑤ 死傷者数、死亡者数ともに新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

## 令和6年10月末 業種別 事故の型別・年齢別死傷災害発生状況

鹿児島労働局

業種	事故の型別									年齢別				
	順位	令和6年 (10月末)	人数	割合	順位	令和5年 (同月末)	人数	割合	令和6年 (10月末)		令和5年 (同月末)		増減数 人数	
									人数	割合	人数	割合		
全産業	1	転倒	424	25.7%	1	転倒	428	25.4%	~19歳	30	1.8%	34	2.0%	-4
	2	墜落・転落	294	17.8%	2	墜落・転落	298	17.7%	20歳~29歳	181	11.0%	190	11.3%	-9
	3	動作の反動・無理な動作	248	15.0%	3	動作の反動・無理な動作	253	15.0%	30歳~39歳	215	13.0%	200	11.9%	15
	4	はさまれ・巻き込まれ	179	10.9%	4	はさまれ・巻き込まれ	149	8.9%	40歳~49歳	286	17.4%	314	18.7%	-28
	5	切れ・こすれ	112	6.8%	5	切れ・こすれ	124	7.4%	50歳~59歳	342	20.8%	391	23.2%	-49
									60歳~	594	36.0%	554	32.9%	40
製造業	1	転倒	77	26.6%	1	転倒	95	27.9%	~19歳	3	1.0%	8	2.3%	-5
	2	はさまれ・巻き込まれ	54	18.7%	2	はさまれ・巻き込まれ	58	17.0%	20歳~29歳	29	10.0%	44	12.9%	-15
	3	墜落・転落	40	13.8%	3	墜落・転落	40	11.7%	30歳~39歳	48	16.6%	50	14.7%	-2
	4	切れ・こすれ	35	12.1%	4	動作の反動・無理な動作	39	11.4%	40歳~49歳	48	16.6%	60	17.6%	-12
	5	動作の反動・無理な動作	33	11.4%	5	切れ・こすれ	37	10.9%	50歳~59歳	56	19.4%	81	23.8%	-25
									60歳~	105	36.3%	98	28.7%	7
建設業	1	墜落・転落	90	37.2%	1	墜落・転落	86	37.7%	~19歳	9	3.7%	5	2.2%	4
	2	転倒	25	10.3%	2	切れ・こすれ	24	10.5%	20歳~29歳	41	16.9%	33	14.5%	8
	3	はさまれ・巻き込まれ	24	9.9%	3	激突され	21	9.2%	30歳~39歳	31	12.8%	33	14.5%	-2
	4	切れ・こすれ	20	8.3%	4	飛来・落下	20	8.8%	40歳~49歳	34	14.0%	37	16.2%	-3
	5	飛来・落下	20	8.3%	5	転倒	18	7.9%	50歳~59歳	37	15.3%	39	17.1%	-2
									60歳~	90	37.2%	81	35.5%	9
陸上貨物 運送事業	1	墜落・転落	42	28.2%	1	墜落・転落	43	27.2%	~19歳	3	2.0%	5	3.2%	-2
	2	動作の反動・無理な動作	25	16.8%	2	転倒	27	17.1%	20歳~29歳	11	7.4%	10	6.3%	1
	3	転倒	22	14.8%	3	動作の反動・無理な動作	24	15.2%	30歳~39歳	16	10.7%	27	17.1%	-11
	4	はさまれ・巻き込まれ	18	12.1%	4	はさまれ・巻き込まれ	17	10.8%	40歳~49歳	46	30.9%	45	28.5%	1
	5	激突され	13	8.7%	5	激突	12	7.6%	50歳~59歳	39	26.2%	45	28.5%	-6
									60歳~	34	22.8%	26	16.5%	8
林業	1	激突され	10	24.4%	1	切れ・こすれ	16	43.2%	~19歳					
	2	切れ・こすれ	10	24.4%	2	墜落・転落	4	10.8%	20歳~29歳	8	19.5%	6	16.2%	2
	3	墜落・転落	4	9.8%	3	転倒	4	10.8%	30歳~39歳	6	14.6%	3	8.1%	3
	4	飛来・落下	4	9.8%	4	激突され	4	10.8%	40歳~49歳	13	31.7%	6	16.2%	7
	5	はさまれ・巻き込まれ	3	7.3%	5	飛来・落下	4	10.8%	50歳~59歳	8	19.5%	6	16.2%	2
									60歳~	6	14.6%	16	43.2%	-10
第三次 産業	1	転倒	271	35.6%	1	転倒	257	33.7%	~19歳	13	1.7%	15	2.0%	-2
	2	動作の反動・無理な動作	156	20.5%	2	動作の反動・無理な動作	160	21.0%	20歳~29歳	63	8.3%	72	9.4%	-9
	3	墜落・転落	92	12.1%	3	墜落・転落	100	13.1%	30歳~39歳	94	12.4%	64	8.4%	30
	4	交通事故（道路）	49	6.4%	4	交通事故（道路）	60	7.9%	40歳~49歳	115	15.1%	143	18.8%	-28
	5	はさまれ・巻き込まれ	39	5.1%	5	切れ・こすれ	30	3.9%	50歳~59歳	163	21.4%	185	24.3%	-22
									60歳~	313	41.1%	283	37.1%	30
小売業	1	転倒	67	43.2%	1	転倒	56	33.9%	~19歳	6	3.9%	4	2.4%	2
	2	動作の反動・無理な動作	20	12.9%	2	墜落・転落	25	15.2%	20歳~29歳	13	8.4%	16	9.7%	-3
	3	墜落・転落	19	12.3%	3	動作の反動・無理な動作	20	12.1%	30歳~39歳	18	11.6%	13	7.9%	5
	4	交通事故（道路）	14	9.0%	4	交通事故（道路）	20	12.1%	40歳~49歳	20	12.9%	28	17.0%	-8
	5	激突	9	5.8%	5	激突	11	6.7%	50歳~59歳	26	16.8%	35	21.2%	-9
									60歳~	72	46.5%	69	41.8%	3
社会福 祉施設	1	転倒	61	36.7%	1	転倒	61	39.9%	~19歳			1	0.7%	-1
	2	動作の反動・無理な動作	58	34.9%	2	動作の反動・無理な動作	52	34.0%	20歳~29歳	5	3.0%	14	9.2%	-9
	3	墜落・転落	12	7.2%	3	激突	8	5.2%	30歳~39歳	23	13.9%	10	6.5%	13
	4	激突	8	4.8%	4	墜落・転落	7	4.6%	40歳~49歳	30	18.1%	25	16.3%	5
	5	激突され	6	3.6%	5	交通事故（道路）	6	3.9%	50歳~59歳	41	24.7%	40	26.1%	1
									60歳~	67	40.4%	63	41.2%	4
飲食店	1	転倒	21	42.9%	1	転倒	11	25.0%	~19歳	4	8.2%	6	13.6%	-2
	2	切れ・こすれ	9	18.4%	2	高温・低温の物との接触	10	22.7%	20歳~29歳	8	16.3%	7	15.9%	1
	3	高温・低温の物との接触	7	14.3%	3	墜落・転落	8	18.2%	30歳~39歳	9	18.4%	3	6.8%	6
	4	動作の反動・無理な動作	4	8.2%	4	切れ・こすれ	7	15.9%	40歳~49歳	3	6.1%	8	18.2%	-5
	5	墜落・転落	2	4.1%	5	動作の反動・無理な動作	3	6.8%	50歳~59歳	8	16.3%	6	13.6%	2
									60歳~	17	34.7%	14	31.8%	3

※事故の型別について・・・上位5位までの型のみを表示しています。

※新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

## 令和6年 死亡災害事例(令和6年10月末現在)

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	令和6年 2 月	建築工事業	鉄骨工	男	71	50年	墜落・転落	建築物・構築物	車庫の新築工事現場で、被災者は屋根部分(高さ3.4m)まで組み立てられた鉄骨の塗装作業を1人で行っていた。14時20分頃、工事発注者の代表者が現場を訪れたところ、建築中の車庫内のアスファルト地面に左顔面をつけ、出血して側臥位の姿勢で倒れていた被災者を発見し、病院へ搬送されたものの、約1時間後に死亡したものの。
2	令和6年 2 月	土木工事業	作業員	男	56	2年	激突され	トラック	事務所前に駐車した3tトラックと資材置場に駐車した2tトラックを入れ替えようと、被災者は3tトラックを運転して資材置場に駐車後、2tトラックに乗り替えて資材置場内を運転中、3tトラックが資材置場内のコンテナ方向に後退し始めたため、運転中のトラックを降りて3tトラックの進行方向に入って止めようとしたが止まらず、トラック後部とコンテナの間に身体を挟まれたもの。
3	令和6年 4 月	土木工事業	運転者	男	61	12年	飛来・落下	木材、竹材	造材されたスギ丸太をトラックで運搬するため、被災者及び1次下請労働者1名がそれぞれフォワーダ及びブローセッサを用いて積み込み作業を行っていたところ、積み込みしていたスギ丸太(重量約270kg、長さ3.82m)が被災者側に落ちて負傷したものの。
4	令和6年 5 月	土木工事業	作業員	男	73	20年	転倒	掘削用機械	災害復旧工事現場にて、被災者がクレーン機能付きドラグショベル(バケット容量0.14m <sup>3</sup> )を操作して木製の型枠を吊り上げた状態で運んでいたところ、傾斜約20度の下り斜面でドラグショベルが前方に転倒し、被災者の頭部がドラグショベルのヘッドガード支柱と地面に挟まれたもの。
5	令和6年 9 月	土木工事業	作業員	男	60	20年	はさまれ・巻き込まれ	掘削用機械	橋台の基礎部分を建設するため、直径2.0mの円柱状の立坑を掘削する作業を行っていた。ドラグ・ショベル(バケット容量0.01m <sup>3</sup> )を坑内に下ろし、被災者は当該ドラグ・ショベルを運転して床掘等を一人で行っていたが、現場を確認しに来た元請現場員が、深さ約2.7mの立坑内でドラグ・ショベル運転席のバーと土留め用のライナープレートの間で左腕、胸部を挟まれている被災者を発見したものの。
6	令和6年 10 月	土木工事業	作業員	男	43	24年	墜落・転落	掘削用機械	被災者がドラグ・ショベル(バケット容量1.4m <sup>3</sup> )を用いて掘削箇所の法面整形作業を行っていたところ、当該作業箇所のすぐ近くに設けられた釜場(雨水等を溜める穴で、大きさ約13m四方、深さ約4m)にドラグ・ショベルごと転落し、降雨等の影響で満水となっていた釜場内で溺死したものの。